

退職者連絡会

第48号
(発行・編集)
J R九州労組
退職者連絡会
鹿児島地区本部

湧水地区沿線・新春交流会 政治決戦の年!! 衆議院選挙必勝に向け決意新た

去る一月二五日、午後二時三〇分より恒例の湧水地区沿線居住者の新春交流会が「湯つたり館」(湧水町)で開催されました。

当日は地元、来賓、地本役員ら三〇名が参加、地元の久木元繁副会長の司会で始まり、地本幹事会を代表して堅山正明会長が挨拶「皆様のご協力で会員の拡大も現在四〇〇名強となった。今年は政治決戦の年。四月の鹿児島市議選を始め、東京五輪・パラリンピック後、衆院・解散、総選挙も予測されており、森友・加計学園の隠ぺい、桜を見る会の公文書削除、カジノ統合型リゾートの汚職事件等など安倍政権の腐敗政治は絶対許せない。今年こそ安倍政権打倒に向け、現退一致して取り組もう」と決意を述べました。



来賓には、県議選で僅少差で惜敗した野呂正和(社民党県連副代表)、野間たけし前衆議員両氏が挨拶「安倍政権の進める改憲を阻止し高齢者の生活を守るための、年金、医療、介護な

ど社会保障の拡充のために強権政治の阻止に向けて頑張る」と決意を述べました。

その後、久木元繁副会長より組織の現状や、交運共済、年間スケジュール等の説明がありました。なお、地元の橋元義嗣町議が挨拶し、湧水町の事業計画や

進捗状況等について議会(報告がされました。

交流の宴は、山口健次氏(元吉松運輸センター)の乾杯で始まり、焼酎を酌み交わしながら和やかな雰囲気の下、来べき衆議院選の必勝を誓い合い午後五時散会となりました。

年金・医療・介護など福祉拡充の実現と市議・衆議院選挙必勝等の活動方針を決定

鹿児島県退連定期総会

一月三〇日、鹿児島県退職者団体連合第二十六回定期総会が鹿児島県九州労働金庫本店大ホールで開催されました。

当日は各加盟組織の代議員、役員、来賓ら八〇名が出席。当連絡会からも五名が出席しました。総会議長に宮下代議員(九電ユニ友の会)を選出。まず幹



事を代表して、二牟礼正博会長(自治労退)が挨拶「安倍政権は、桜を見る会などウソと誤魔化し、

隠ぺい等など権力と行政を私物化し、平和と民主主義の危機的状况を生み出している。野党共闘をさらに進め、四月の鹿児島市議選の推薦候補を現退一致の運動で勝利し、衆議院で安倍政権を打倒しよう」と強く訴えられました。

来賓として、岩下卓美県連合副会長(JP労組)を始め、福松節生幹事長(立憲)

「川内ひろし衆議員は国会開会のためメッセージを代読」、野間たけし前衆議院議員(国民副代表)、川路孝幹事長(社民)、斉之平副本部長(労金)栄留理事長(こくみん共済)の各代表が次々と連帯と激励の挨拶。そのあと迫立泰行事務局長(JR九州労組退職者連絡会)が二〇一九年度経過報告を行い、引き続き決算報告の後、承

認。二〇二〇年度活動方針案及び予算案が提起され、若干の質疑応答後、満場一致で承認されました。役員改選では、一部役員の変更がありました。役員が選任されました。

二牟礼正博会長の鹿児島市議選、衆院選必勝の力強い団結頑張ろうで閉会となりました。

編集後記

通常国会が始まり、八年目の安倍政権。「桜を見る会」の政治私物化や、さらにカジノ事業を巡る賄賂事件。野党共闘の徹底した追及が始まった。首相答弁は相も変わらずウソと誤魔化しに終始。また、新型コロナウイルスで緊急事態条項に対し、改憲論の悪乗りも浮上。もはや安倍政権の打倒しか無い。ワンチームでキバレ(頑張れ)野党。